

言語活動の充実に関する実践事例

学校名(安芸太田町立加計小学校)

- ① 教科等 小学校社会科
- ② 学年 第4学年
- ③ 単元名 健康なくらしをささえる「ごみのしまつと活用」
- ④ 本時の目標
安芸太田町のごみの分別収集の方法について資料をもとに調べる。
ごみの分別収集の約束(きまり)についてまとめ、その意味を考える。
- ⑤ 学習の流れ(3時間目/全12時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 自分の住んでいる地域のごみ収集の方法について調べてきたことを発表しあう。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのごみ調べ、ごみ収集の方法について調べてきたことを発表し合うことで、ごみの分別収集が行われていることをつかみ、曜日や出し方などにきまりがありそうだという事に気づかせる。 	
<p>【めあて】資料をもとに、安芸太田町のごみの出し方の約束(きまり)をみつけ、なぜそのきまりがあるのか理由を考えよう。</p>		
<p>2 ジグソー法を用いて、資料をもとにごみの出し方の約束の共通点を見つけ、出し方の約束の意味について考える。</p> <p>(1) エキスパート活動 ・4つのグループに分かれて資料を読み、それぞれのごみの出し方について調べる。</p> <p>①燃えるごみ ②燃えないごみ ③プラスチックごみ ④粗大ごみ</p> <p>(2) ジグソー活動 ①ごみの出し方について資料をもとに説明し合う。 ②4つのごみの出し方に共通する約束・特徴的な約束をみつける。</p> <p>①つけた約束の意味について考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つのごみの種類・出し方について、自分のグループに与えられた資料を詳しく読み取り、ごみの出し方の約束を理解させる。そのことを次のジグソー活動の際に、他のグループの人に分かるように説明させるという目的を持たせて活動に入る。 ・エキスパート活動中は、それぞれのグループの話し合いを優先し、指導者は各グループの話し合いの進み具合、出された結論を把握するにとどめる。 ・4つのグループから1人ずつ集まって新しい班を作り、自分の調べた資料について説明する。 ・すべてに共通のもの、一部共通のもの、特徴的なものの観点で約束を整理させる。 ・なぜそうかんがえたのか理由もつけて説明させる。 	<p>○4つの資料を比較して、ごみの出し方の約束を見つけ、その意味を考えることができる。【社会的な思考・判断・表現】 (発言・プリントの記述)</p>
3 全体での意見交流をし、学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・約束については、板書をもとに整理する。また、その意味については、予想の部分もあるので、今後のごみ処理施設の見学のめあてにつなげていく。 	
4 本時の振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワード(ごみの出し方・約束・働く人)を使って学習の振り返りを書かせる。 	

指導のポイント


説明する目的、相手意識を明確にするためにジグソー法を用いる。



- 協調学習が起こることをねらい、知識構成型ジグソー法を用いた話し合い活動を設定する。
- ① **エキスパート活動**：4つのごみの出し方をそれぞれのグループで資料をもとに説明できるよう資料を読みとることで、ごみの出し方を理解することができる。
- ② **ジグソー活動**：4つのグループから一人ずつ集まり、別の班をつかって話し合いをする。その際、一人一人が自分の持っている資料をもとに説明する責任が生じる。また、全員が説明する場(役)を保障されているので、話し合いの中での役割が明確になる。
- ③ ジグソー活動での課題「それぞれに共通する約束・特徴的な約束をみつけ、その意味を考える」活動では、全員の資料を比較し、課題に迫っていく必要があるため、話し合いが活発になる。
- ④ 話し合いの場では、説明する人・その説明を直接受ける人・まわりで2人のやりとりを見ている(聞いている)人のそれぞれの立場で、言葉で表現することでより思考を深めることにつながっていく。
- ⑤ **クロストーク**：ジグソー活動で考えたことを全体で交流しながら、学習のまとめ・気づきにつなげていく。

考える視点を明確にした発問にする。

- ジグソー活動の課題として「それぞれのごみの出し方の約束で、共通しているもの、特徴的なものをまとめよう。そして、なぜその約束が必要なのか理由を考えよう。」とした。4つの資料を比較すること、また、比較したときの観点を与えることで、話し合いの方向性が整理され、思考が深まる。



「それぞれのごみの出し方の約束で、共通しているもの、特徴的なものをまとめよう。そして、なぜその約束が必要なのか理由を考えよう。」【学習プリントにも記載】

○決められた曜日・場所に出す。
○決められた袋に入れて出す。
○袋の重さを10kg以下にする。
○他のごみとまぜない。
○容器は中身をきれいに洗って出す。
○おかねがかかっている【袋を買う】
○われもの・刃物など危険なものは危なくないように出す。
○残飯などは水気を十分にきって出す。

○ごみの種類で分けて出すのは、ごみごとに行き場がちがうから。
○ごみをしまつすにはお金がかかる。【施設燃料など】
○働く人が重すぎないように、安全に運べるような約束もある。

説明の際に、それぞれの資料を活用させる。

- 身近なものの資料(表・図)を使って、説明させることで、共通点などがみつけやすくなる。

設定した言語活動を通して育てたい力

- 安芸太田町のごみの出し方の共通する約束・特徴的な約束に着目することで、ごみのしまつについてその方法を理解し、自治体や働く人の工夫・苦勞などとの関連を考えることができる。